

第 183 回エネルギー問題に発言する会 座談会議事録

座談会演題：「SNS を知る。ソーシャルメディアネットワークの特徴と使い方」

講師：福田悟郎 氏

日時：2017 年 12 月 21 日（木）16:00～17:45

場所：日本原子力安全推進協会（JANSI）13 階 第 3, 4 会議室

座長：早野睦彦

参加者：会員 約 40 名

議事録作成：針山日出夫

配布資料：① 講演資料： SNS を知る。ソーシャルメディアネットワークの特徴と使い方（2017 年 12 月 21 日付）

講演趣旨： パソコンがインターネットを普及させ、スマートフォンがソーシャルメディアネットワーク（以下、SNS）を爆発的に普及させた。近年、私たちのコミュニケーション方法、PR 方法は SNS を無視できなくなっている。Facebook と twitter のユーザー数の違いや特徴、炎上しやすいサービスはどれ？など SNS の基本的な知識を中心に、今後 SNS を活用する上での注意事項などを概説いただいた。

講師略歴： 1976 年（昭和 51 年）埼玉県川口市生まれ

1999 年（平成 11 年）専修大学法学部中退

1999 年（平成 11 年）～ フリーター、サラリーマンを経験。パソコンのスキルを活かし 30 歳からフリーランスとして、地方議員、国会議員のホームページ作成・管理。レーベン企画に入社。現在は、日々の政治活動、選挙サポートを中心に活動を展開。国会議員の WEB サイト制作、運営を手掛けながらインターネットの効果的な使い方を日々試行錯誤しながら追及している。

【講演のポイント、特記事項】

SNW やエネ会の活動をより効果的に推進するための方策として、SNS (Social Networking Service) を如何に有効利用するかは関心の高いテーマ。今回は、その関心に応えるように企業や各種社会活動における SNS の活用実態や活用にあたっての留意事項等についてテキストに沿って簡明な説明があった。要点を以下に列記する。質疑応答は省略。

□ 最近の企業の WEB を使ったマーケティング施策の特徴

- － SEO(Search Engine Optimization：検索エンジンで WEB ページが上位に載る事を目的とした打ち手)対策とアクセス解析がトップ

- ー リスティング広告 (Pay Per Click Ad.の一種) も高位に位置づけられている。
- 企業が販売促進で一番効果があったと感じる打ち手(2014)
 - ー トップは、SEO 対策で、次に WEB メディアなどへの記事広告出稿
- PC 経由のサービスユーザー数の変化
 - ー これまで、Yahoo や Google を使う人の数がトップであったが、スマホの出現により PC 経由のサービスユーザーは劇的に減少。
- スマホ経由のサービスユーザー数の変化
 - ー Google, Yahoo, LINE, Facebook などが 3500 万人～5000 万人に増加。
- スマホのアプリユーザー数の変化
 - ー LINE, Google Play, You Tube, Google Map などが増加
- 世代別 SNS 利用率
 - ー LINE, Google 等の主要な SNS は若い世代ほど利用率が高いが、60代になると利用率は 10%以下になっている。
- 企業が利用している SNS
 - ー 企業では、Facebook、Twitter、YouTube, ブログの順で活用率が高い
- SNS の本質と情報拡散の仕組み、知り合い連鎖等について
 - ー SNS の主目的は個人間のコミュニケーション。参加の形態には閉鎖型とオープン型があり、既存のメンバーからの招待が無いと参加できないものもある。
 - ー 企業視点では、情報拡散の流れで企業認知度のアップ・集客アップ・ロイヤリティアップのスパイラルが期待できる。
 - ー 各 SNS の公開性・匿名性・連鎖性・炎上性の特質をよく知る事が大切
- Facebook、Twitter、インスタグラム、LINE の基礎知識と特徴について
 - ー 比較評価の概説あり。(内容省略)
- SNS 関連最近のトピックス(内容省略)
 - ー 炎上の要因と事例の紹介
 - ー SNS 上で著名となり高収入にありついた例
- 纏め：SNS を活用する場合の留意事項について
 - ー SNS は用途と伝えたい相手の層などを見極めて、有効なツールを選択することが最も肝要。複数のツールを使いこなすことも有用。
 - ー 情報拡散はコントロールできない場合が多いので、個人情報が必要以上に書き込まないことが大事。
 - ー 発信相手に対しては、1 対 1 で面接する以上に細心の注意を払って情報発信するのが大事。

以上